

## 令和4年度小学校フッ化物モデル事業の取り組み

## (1) フッ化物洗口

- ・モデル校として浜山小学校（兵庫区）と名倉小学校（長田区）の2校を選定し、令和3年11月より、フッ化物洗口を希望する小学2年生の児童を対象に開始。毎週1回洗口を行った。
- ・浜山小学校では計7回実施し、延べ241人が参加、名倉小学校では計5回実施、延べ115人が参加したが、新型コロナウイルス感染症の拡大により途中で中止した。
- ・令和4年度は、前年度に参加していた児童（小学3年生に進級、希望者）に対して5月より継続実施している。



## (2) フッ化物塗布

- ・モデル校として和田岬小学校（兵庫区）と丸山ひばり小学校（長田区）を選定し、小学2年生の希望者を対象に、年2回の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業実施に至らなかった。
- ・令和4年度は小学3年生を対象に、9月15日に和田岬小学校で、9月22日に丸山ひばり小学校で1回目の塗布を実施した。45分の授業時間のうち20分間で歯の大切さ等を学び、25分間で希望者に対しフッ化物塗布を行った。和田岬小学校は、27名/30名、丸山ひばり小学校では、31名/33名の児童にフッ化物塗布を実施した。

